

代表者名	中西 大和	所管部課名	産業経済労働部商工業振興課
所在地	秋田市新屋町字砂奴寄4-11	設立年月日	昭和57年8月10日

**【沿革及び県の出捐理由】**

秋田県工業技術センターの整備を機に、企業から依頼される試験・分析部門を独立させた機関で、公益性確保等のため県が主体となり昭和57年8月10日設立。

**【出捐者】(18年度当初)**

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	10,000	100.0
			0.0
			0.0
計	1	10,000	100.0

**【事業】**

**主たる業務**

1. 工業原材料及び製品の試験・分析
2. 技術者研修

**事業実績**

(件、回)

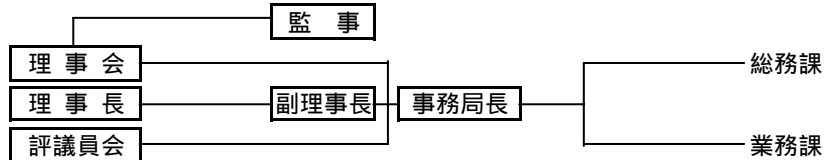
事業名等	15年度	16年度	17年度
依頼試験件数	2,884	2,670	3,359
研修開催回数	8	2	7

**17年度事業概要及び18年度事業計画・目標**

1. 平成17年度事業概要 試験分析事業 3,359件(13,314項目) 87,547千円
2. 平成18年度事業計画・目標 試験分析事業 3,000件(12,500項目) 84,000千円

**【組織】**

**運営機構**



**役員数**

(人)

	理 事	監 事
常勤		
内、県退職者		
非常勤	6	2
内、県退職者		
内、県職員	2	1
計	6	2
内、県関係者	2	1

**職員数**

(人)

	人数	備考
正職員	7	正職員
内、県退職者		平均年齢
出向職員	2	50歳
内、県職員	2	
臨時・嘱託	2	正職員
内、県退職者		平均勤続年数
計	11	21.8年
内、県関係者	2	

**【財務】**

**損益状況(17年度)**

(千円)

	金額
経常収入 A	89,335
受託事業収入	0
補助金収入	0
自主事業収入	88,882
運用益収入	4
その他	449
経常支出 B	88,944
人件費	61,981
その他	26,963
経常損益 C = A - B	391
経常外収入	0
経常外支出・諸税	1,113
当期損益	-722

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額

**財務状況(17年度末)**

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	65,646	36.3
固定資産	115,077	63.7
資産計	180,723	100.0
流動負債	4,607	2.5
短期借入金	0	0.0
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	38,684	21.4
負債計	43,291	24.0
基本金	10,000	5.5
剰余金	127,432	70.5
資本計	137,432	76.0
負債・資本計	180,723	100.0

(千円、%)

	要支給額	引当額	引当率
退職給与引当状況	59,670	商工会議所共済制度利用	100.0%

**【県の財政支出】**

(千円)

	15年度	16年度	17年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	15年度	16年度	17年度	15-16増減	16-17増減
健全性	自己資本比率	%	74.47	75.60	76.05	1.13	0.45
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	698.33	953.14	1,424.92	254.81	471.78
収益性	剰余金(欠損金)	千円	122,300	128,154	127,432	5,854	722
	経常利益率	%	15.71	8.89	0.44	6.83	8.45
	総資本利益率	%	8.86	4.80	0.22	4.05	4.59
発展性	経常収入額	千円	100,128	98,760	89,335	1,368	9,425
効率性	総資本回転率	%	0.56	0.54	0.49	0.02	0.05
	職員1人当たり経常収入	千円	8,344	8,230	8,121	114	109
	人件費比率	%	60.34	62.12	69.38	1.78	7.26

2 経営目標の達成状況

経営目標			15年度	16年度	17年度	18年度
経営改善指標	経常利益率(%)	目標	6.00	6.00	6.00	2.00
		実績	15.71	8.94	0.44	
事業成果指標	職員1人当たりの事業費(千円)	目標	7,800	7,800	7,800	7,800
		実績	5,928	6,369	6,843	
事業成果指標	顧客満足度指数	目標	50以上	80以上	80以上	80以上
		実績	91	92	91	
事業成果指標	利用企業数(件)	目標	450	450	450	450
		実績	464	498	544	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

16年度に比べて収益性、発展性、効率性が落ちているが、借入金もなく経営状況は良好であると考えている。  
 17年度の経営目標の達成状況については、経常利益率が達成できなかったものの概ね満足できるものと考えており、さらなるサービス向上に努める。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
経常収入の減少傾向が続いており、最終損益が若干の赤字となった。今後は、自主事業の確保が課題である。また、経常利益率の大幅な低下が懸念材料である。	